

かわしま

No.125

平成31年 4月25日



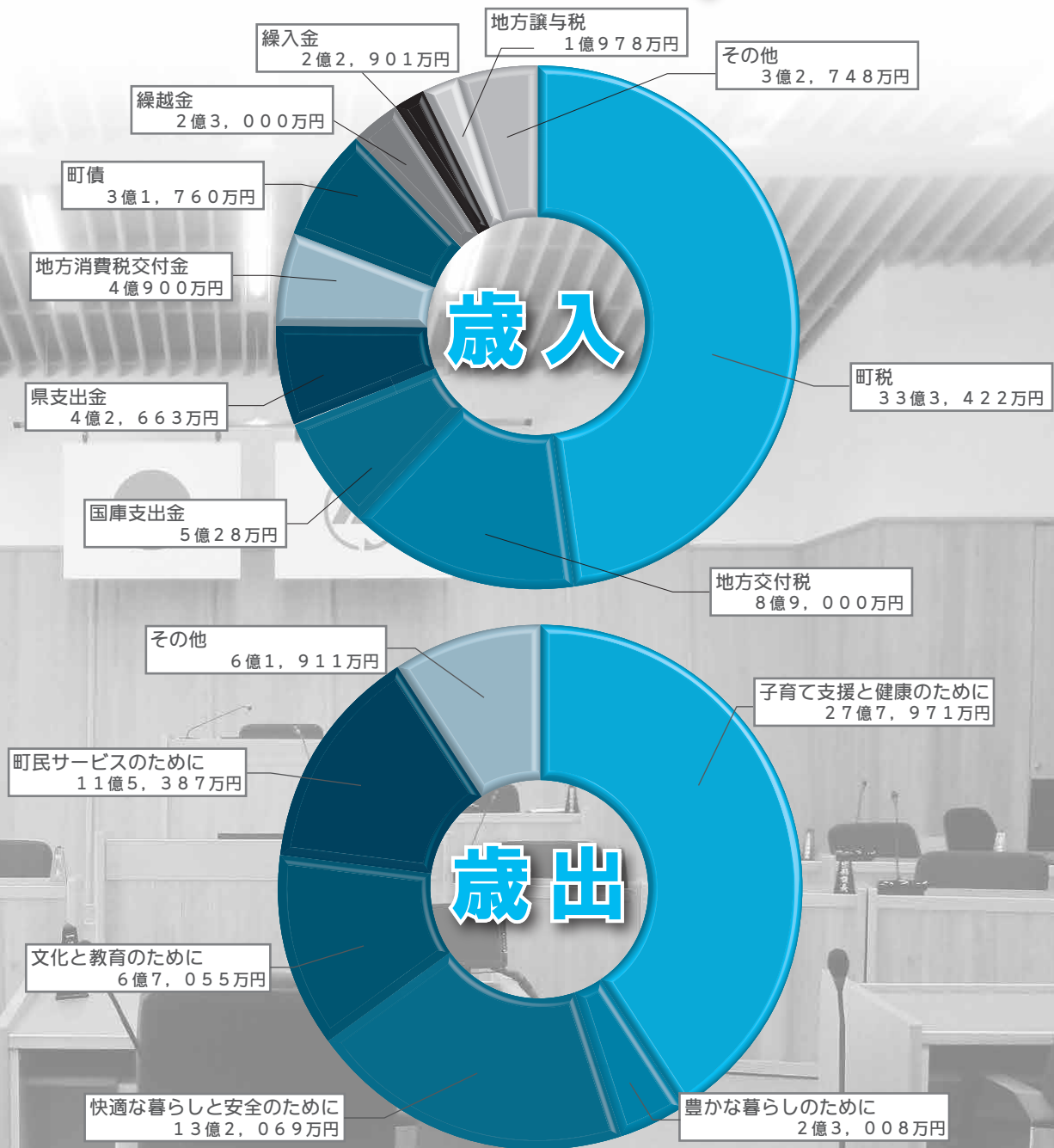
とねがわ幼稚園入園式（4月6日）

3月定例会 ②～⑥

委員会の動き⑦～⑧ 3月定例会審議結果⑨ 一般質問 町の考えを問う⑩～⑭

平成31年度

一般会計予算 67億7,400万円



項 目	予 算 額	備 考
●子育て支援と健康のために	2億7,970万8千円	民生費 20億8,250万8千円 衛生費 6億9,685万3千円 労働費 34万7千円
●豊かな暮らしのために	2億3,007万8千円	農林水産業費 2億 591万9千円 商工費 2,415万9千円
●快適な暮らしと安全のために	1億3,069万1千円	土木費 7億7,967万7千円 消防費 5億4,101万2千円 災害復旧費 2千円
●文化と教育のために	6億7,054万7千円	教育費 6億7,054万7千円
●町民サービスのために	1億1,536万8千円	議会費 9,642万5千円 総務費 10億5,744万3千円
●その他	6億1,910万8千円	公債費 6億 906万4千円 予備費 1,000万 円 諸支出金 4万4千円

主な事業 31年度版

結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実

・放課後児童対策事業	5,088万8千円
・不妊治療費助成事業	136万0千円
・子宮がん検診事業	23万1千円
・新生児聴覚検査助成事業	47万5千円

川島町の未来を担う教育の充実

・英語教育充実授業	1,925万8千円
・きめ細かい教育の推進事業	1,883万9千円
・日本語検定受験・英語検定受験推進事業	163万1千円
・英語村体験事業	14万7千円

農業の活性化と担い手の確保

・すぐソコ！かわじまふるさとビジネス事業	2,624万6千円
・新規就農者への総合支援事業	1,580万2千円
・農地集積事業	1,650万0千円

子どもからお年寄りまで地域でふれあう機会の充実

・地域学校協働活動推進事業	173万3千円
・伊草公民館駐車場整備事業	923万9千円
・町立図書館改修（屋上防水）事業	1,022万8千円

誰もが安心して暮らせる地域づくり

・くらしの交通支援事業	2,725万5千円
・橋梁長寿命化事業	4,700万0千円
・地震洪水ハザードマップ・ガイドブック作成事業	450万0千円
・避難計画作成事業	430万0千円
・災害用マンホール蓋交換事業	237万8千円

川島町の魅力発信と認知度向上

カワジマ スプリング フェスティバル	
・kawajima Spring Festival 開催事業	409万6千円
・鈴木聞多氏・宇津木妙子氏企画展事業	16万0千円

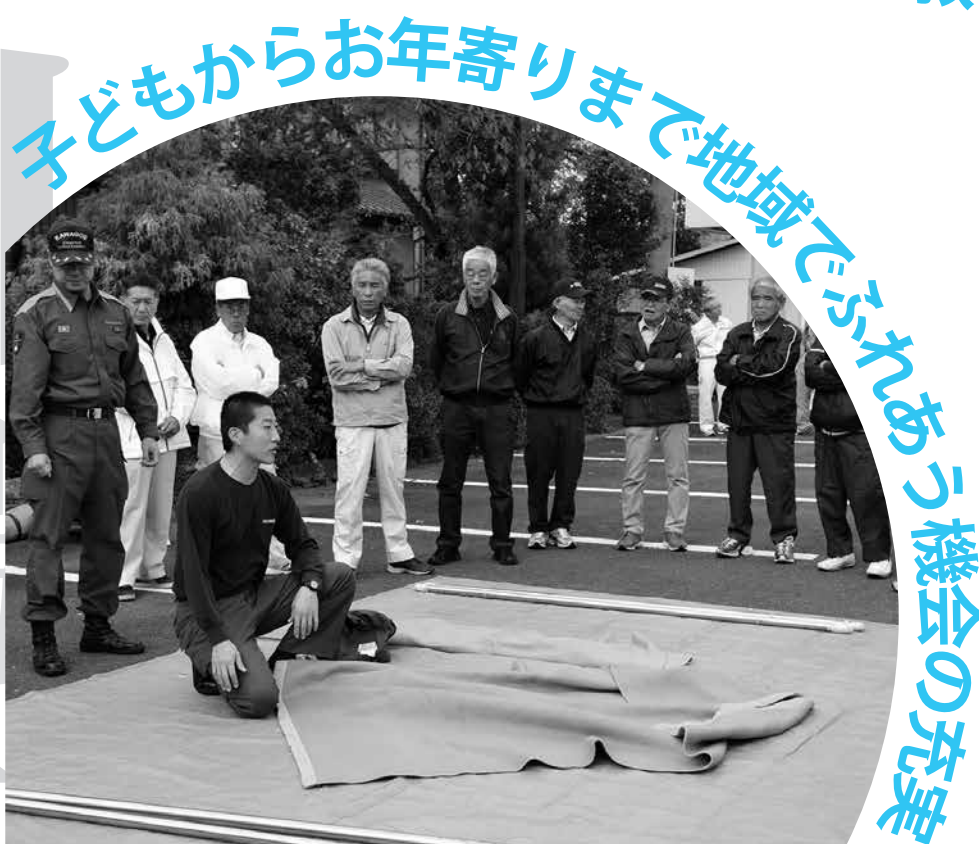
英語村体験事業 14万7千円

小学生の英語学習を支援するため、実用英語技能検定5級に合格するためのスキルや単語力を身につける学習的な要素を取り入れたプログラムの英語体験教室を開催します。



英語村体験事業

川島町の未来を担う教育の充実



自主防災訓練（伊草地区）

伊草公民館駐車場 整備事業 923万9千円

伊草公民館の駐車場を整備し、来館者の利便性の向上を図ります。



放課後児童対策事業 5,088万8千円

町内にある放課後児童クラブ（かっぱくらぶ・どりいむくらぶ・かわじま学童クラブ）に対し、運営に係る経費の一部を補助します。

結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実

農業の活性化と担い手の確保

平成の森公園を中心に、貸農園や観光農園、商品生産・加工・販売施設を整備するほか、特産品の磨き上げ等を進め、来訪者の消費促進とリピーター化を図ります。

すぐソコ！かわじま ふるさとビジネス事業 2,624万6千円



橋梁長寿命化 事業

4,700 万円

橋梁の長寿命化と利用者の安全を確保するため、定期点検結果を基に、計画的な修繕を行います。平成31年度は市野川に架かる松永橋の修繕工事を行います。



松永橋

誰もが安心して暮らせる地域づくり

川島町の魅力発信と認知度向上



ちびっこフェス・バラ祭り



バラの小径

カワジマ スプリング フェスティバル

Kawajima Spring Festival 開催事業

～かわじま まるごと春まつり～

409 万 6 千円

「ちびっこフェスティバル」、「バラの小径まつり」、「健康福祉まつり」が一つのイベントとなって平成の森公園で開催します。

総務経済建設常任委員会

特定外来生物等の捕獲

問 特定外来生物等の捕獲数の内訳は。

答 平成29年度はアライグマ146頭、ハクビシン15頭で平成30年度は、2月末現在でアライグマ194頭、ハクビシン9頭です。

リフォーム補助の申請数

問 平成30年度のリフォーム補助申請の全体件数は。

答 平成30年度は20件で168万4千円。その内、子育て世帯は4件で61万9千円です。

町のインフラ整備

問 市街化区域に比べると調整区域のインフラ整備が進まないように感じる。もう少し予算を上積みしてもよいのでは。

答 全体的にバランスを見ながら予算配分をしています。調整区域だけ予算が少ないという事はありません。

浸水対策の充実に向けて



総務経済建設常任委員会では、飯島3号雨水幹線の工事状況を視察してきました。
公共下水道の処理区域については、浸水対策の充実を図るため、主要な雨水幹線の整備を計画的に実施しております。

イルミネーションイベント

問 イルミネーションの見直しの内容は。

答 平成31年度は庁舎周辺にて行う予定で、若手職員が企画を検討して飾り付けます。若干増設もあるかと思いますが、すでに購入したものを活用して実施します。

旧庁舎の解体

問 旧庁舎解体工事の具体的な内容は。

答 旧庁舎の解体工事につきましては、本庁舎819㎡、第二庁舎413㎡、別館548㎡などの解体です。工期は5か月間を予定しております。

避難所の管理

問 旧出丸小学校は普段水を使わない中で、災害時に水が良好な状態で飲めるのか。

答 職員が週1回以上、水道水を出して循環するようにしています。受水槽についても定期点検を実施し、常時水が飲める状態にしております。

文教厚生常任委員会

ごみ処理の価格

問 事業系ごみの処理価格が250円に増額するとのことだが、ごみ処理原価は。

答 10キログラムあたり370円のコストがかかります。近隣の価格を調査し、価格を設定しました。

学校のブロック塀工事

問 完成時期と工事内容は。

答 中山小学校プール北側約49mと伊草小学校東側約40mを安全対策のため、ブロック3段程度を残して高さ120cmの目隠しフェンスを設置。プール開始前までに完成するよう学校と調整していきます。

英語教育の充実

問 2020年に新たな学習指導要領が始まるが町の対応は。

答 英語が教科化されるに伴い、英語の授業を増やし、ALTも2名体制で実施予定。委託先はプロポーザル方式で業者から提案してもらい、実績のある業者をお願いします。

各小学校区に放課後児童クラブを設置



平成31年度からは、つばさ南小学校区に新規のクラブが設置されます。中山小学校区では、2クラブに増設。今後も、子どものより良い環境づくりを目指します。

企画展の内容

問 鈴木聞多氏・宇津木妙子氏の企画展の内容は。

答 川島町からオリンピックに出場され活躍された2人のゆかりのある物の展示と講演会を企画しております。今年の夏頃に役場1階多目的室にて実施予定です。

川島子ども学習支援

問 子どもの学力向上と不登校生徒の対応は。

答 教員の指導力向上、小中一貫教育の実現を目指し進めます。不登校については、男性スクールソーシャルワーカーを配置し家庭の中に入り込む仕組みを続けます。

学芸員の業務内容

問 町の学芸員の仕事内容は。

答 新たな町指定文化財の調査審議会や将来的には資料館の整備などの業務を行ってみたいと考えております。

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上 程 さ れ た 議 案	結 果	議 員 氏 名													
		松 原 謙 司	稲 村 美 代 子	小 峯 松 治	遠 山 尚	新 井 悦 子	栗 岩 輝 治	爲 水 順 二	飯 野 徹 也	菊 地 敏 昭	石 川 征 郎	道 祖 土 証	山 田 敏 夫	小 高 春 雄	森 田 敏 男
条例の一部改正															
川島町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成３０年度 補正予算															
川島町一般会計補正予算（第５号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町下水道事業特別会計補正予算（第４号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町介護保険特別会計補正予算（第２号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町水道事業会計補正予算（第３号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成３１年度 当初予算															
川島町一般会計予算	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町国民健康保険特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町学校給食費特別会計予算	可 決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町下水道事業特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町介護保険特別会計予算	可 決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町後期高齢者医療特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
川島町水道事業会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町道路線の廃止															
町道路線の廃止について（町道２２０４号線）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町道路線の認定															
町道路線の認定について（町道３５６７号線）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町道路線の認定について（町道４７２０号線）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議員提出議案															
川島町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	×	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	—
平成３１年度 補正予算															
川島町一般会計補正予算（第１号）	可 決	○	×	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	—
副町長の選任															
副町長の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教育委員会委員の任命															
教育委員会委員の任命について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

（※議員名は、議席順となっております。）

町の考えを問う

町政一般質問要旨 3月12日、13日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

栗岩 輝治 議員	1 消費税10%について 2 「堆肥舎」問題について 3 学校跡地利用の成行きについて 4 つばさ南学童クラブについて
稲村 美代子 議員	1 SDGs(エスディージーズ)について 2 行政手続きの簡素化について
道祖士 証 議員	1 川島インターチェンジ北側産業団地の現状について 2 当町の道路整備について 3 当町の引きこもり対策について
菊地 敏昭 議員	1 町の安全安心について 2 高台避難所について 3 町道に埋設している県の上水道送水管について 4 町有地の活用について 5 環境総合計画について
小峯 松治 議員	1 活力あるまちづくりについて 2 農業振興等について
飯野 徹也 議員	1 太陽光発電設備の設置について 2 町内の生活道路整備について
松原 謙司 議員	1 行方不明者への対応について 2 農福連携について
新井 悦子 議員	1 スマートフォンのLINEを活用した通報システムについて 2 学生服について 3 生活困窮者とフードバンクについて

問

「堆肥舎」の継続が困難だ。

答

利用組合は利用意向がある。

(消費税10%問題について)

問 消費税が今年10月から10%に引上げられる予定ですが、町の予算上、どの程度見込んでいますか。

答 交付見込み額は400万円の増、歳出見込み額で2千万円負担増となります。

(「堆肥舎」問題について)

問 ハツ保地域に17年前に建設稼働していた「堆肥舎」の経営が行き詰ってきており、廃業したい。廃業の場合、国、町からの補助金返還が必要か。

答 国庫事業を活用して導入した施設を耐用年数(35年間)前に事業中止の場合、補助金返還の場合もあります。

当事者の利用組合(畜産農家2戸)、国、県との協議が必要となります。町としても、調整に協力させてもらいます。

ただ、利用組合の当事者は、堆肥舎の利用を継続したいとの意向がありますので、協議を継続して参ります。

問 堆肥舎維持にかかる、固定



ハツ林地域で稼働中の「堆肥舎」事業継続が困難

資産税と、借地料の猶予がでないか。

答 税法上、猶予条件に該当しないので、本件は無理と思われる。

(学校跡地利用問題について)

問 学校跡地利用問題の成り行きについて伺います。

答 検討委員会での答申が3月27日に出されます。

町としての利活用を決定し、議会に説明の上、地域の意見・要望を聞きながら進めていきます。



栗岩 輝治
くり いわ

〔SDGs《エスディージーズ》〕

問 国連で2015年に採択されたSDGsは、貧困の根絶、健康と福祉の促進、ジェンダー（性別）平等など17の目標があります。そこで、川島町の管理職に占める女性の割合、職員の有給休暇の取得数を伺います。

答 女性の管理職の割合は、平成28年度は12・5%、29年度は17・5%、30年度は21・4%です。有給休暇の取得数は、平成28年度は一人当たり8・4日、29年度は7・9日、30年度は8・6日です。

問 町ではSDGsについてどのように考えていますか。

答 若い世代の子育て、地域産業の活性化、安心して暮らせる地域づくり、人を呼び込む観光は、SDGsの達成目標に向けた取り組みと考えています。

問 町長の公約にある「キラリと女性が輝く社会づくり」とは、

答 男性社会の意識改革を行い、女性の行政参加を促していきたいと考えています。

〔行政手続きの簡素化〕

問 例えば転出届の場合、担当窓口が6か所、手続きは15項目以上あります。書類に住所、氏名の印字をする、押印の数を減らす等、簡素化してほしいと思います。町の考えは。

答 現在、住民の方が窓口に来られた場合、関係する課の職員がワンストップで手続きをしています。印字、押印を含め、さらに住民負担の軽減を目指していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



SDGs ロゴ



稲村 美代子
いなむら みよこ

問 当町の引きこもりの現状は。

答 引きこもりに関しては恥ずかしいという考えのためか世間体を気にして隠してしまうケースが多く、家庭内の問題として表面化しにくい実情があり、川島町を含め各自治体でも詳細な人数の把握はできていません。

問 クローズアップ現代で取り上げられた秋田県の藤里町を参考にできないか。

答 藤里町は人口3,300人程度で、町の社会福祉協議会が中心となって一軒一軒全ての世帯を訪問して、引きこもり対象者を把握し、粘り強く丁寧なカウンセリングが信頼関係を生み、社会復帰の大きな足がかりとなったようです。

成功事例から学ぶことは非常に大きいものがございます。町社協をはじめ、関係機関と連携したいと思っています。

問 当町の高校生の不登校や引きこもりの現状は。

答 支援を行う必要性は十分認識していますが本町に在住して

いる高校生の不登校者は把握できていないのが現状です。

問 町としての具体的な対策は。

問 当町の引きこもりの対策は。

答

社協等と連携し

取り組んでいきたい。



道祖土 証
みちぞと しょう



藤里町社会福祉協議会

問 町の安全安心・高台避難所は。

答 実現に向け休まず、進めます。



菊地昭敏

問 高台避難所について、どの様に進んでいますか。

答 河川の堤防上に構築し、水防活動を行う上での緊急用資材を備蓄し、災害の発生時には、緊急復旧などの基地となるとともに川島町地域防災計画には平常時は地域のレクリエーションの場としても使用できる災害避難場所として整備するものです。

平成28年3月に国交省関東整備局は、計画の中で荒川沿いの出丸地区と越辺川沿いの伊草地区の2か所に、緊急復旧活動等の水防拠点を位置づけています。荒川上流河川事務所と調整を図りながら、実現に向けて休まず進めてまいります。

問 川島町消防団車輛の総重量が、約4・2トンあり普通運転免許証では、運転できないが。

答 川越消防局の話では、準中型の免許取得への助成をするか、又は、3・5トン未満の消防車輛を配備するか考えていきます。



川島町の消防団車輛

く見直してできないか。

答 消防団長（水防団長）と今後の費用弁償のあり方を研究していきます。

問 環境総合計画について、町内の事業所が委託できる一般廃棄物の収集業者数は。

答 16社で環境センターに搬入できるのは町内の事業系一般廃棄物のみです。

問 町のペーパーレス化は、30年度から取組みました。

問 インター南側開発の進捗状況は。

答 面積等課題に対し、県と鋭意調整中。



松治 小峯

問 インター南側開発は、町・地権者協議会・事業パートナー3者が連携し、69haの早期実現に向け進めています。現在の進捗状況は。

答 町では、当開発の早期実現を目指し、県と調整を進めており、課題に対し一つ一つ対応し、着実に前に進んでいると考えております。主な課題は3つあり、①254号西側の白地地域の土地利用が未定。②69haの面積の必要性。③農地の減少による町農業への影響が無い事の説明。

この中の、白地区域については、都市計画法に基づく地区計画を策定することで概ね了解を得られた状況です。残る課題についても、鋭意進めて参ります。

問 市街化調整区域は、人口減少、高齢化、行政組織維持困難、空き家が増加する等地域が衰退しています。その救済策の一つが都市計画法34条11号の指定と思いますが、町の考えは。

答 県と指定に関する相談をしており、地域コミュニティの維持を前提に、地域の実情に合わせ、指定を行う方向です。



活力あるまちづくりを目指して

問 農地の集積・集約の状況は。平成30年度は、新たに12月60haの農地を集積し、累計で488haとなりました。面積では、県内第3位、集積率では第1位です。また、集積が進んだ地区では、畦畔撤去や均平化による区画拡大を行い、担い手が効率的な耕作が行われるよう支援を行って参ります。

〔太陽光発電設備の設置について〕

問 近年、町内各所で太陽光発電施設が設置されている。集落に隣接した田畑を開発したものが多くみられ、中には自宅の周りを囲むように設置されているお宅もある。さらに太陽を自動追尾するタイプは騒音や景観への影響などが問題となっている。雑草や枯草ゴミなどの問題が出ても、看板の電話番号だけが頼りの綱となっている。町は、こうした施設の設置に関する問題をどの様に対処していく考えか。

〔町内の生活道路整備について〕

問 町内の調整区域内の生活道路、特に集落と集落をつなぐ道路の多くは水路が並走している。整備の完了した東大塚地内では、水路を柵渠整備し広い幅員の車道を作り、民地側には歩道とU字溝が整備され素晴らしい環境がつくられている。しかし多くは何十年も整備されないままと

〔太陽光発電施設に対する町の対応は。〕

町の対応は。

答

早急に条例や規則を整備します。

整備します。



整備が待たれる上猪地内

なっている。三保谷の白井沼から平沼に抜ける道路や、宮前から上猪、下猪に至る道路。出丸では中郷から大屋敷に至る道路などの整備は一向に進んでいない。こうした町道の整備をどのように進めていく考えか。

答 町道の整備の遅れについてはご指摘の通りだと理解しています。義務的経費が年々膨らむ中で、どこまでできるかお約束できませんが、精一杯努力してまいります。

〔行方不明者への対応について〕

問 行方不明にさせないための取り組みはどのような事をしていきますか。

答 民生委員や地域の方を中心にした、ふれあい見守り活動や新聞販売店、郵便局などで構成されている高齢者安否確認ネットワークを構築しています。また、徘徊のおそれのある高齢者や知的障害者に対して、GPSで居所を検索する、徘徊高齢者探索システムを導入しています。

〔農福連携について〕

問 農福連携についてどのような見解をお持ちですか。

答 農業分野では担い手不足や耕作放棄地の拡大と言う問題があります。一方、福祉分野では就労訓練のために働く場や仕事を求めている事業所もあります。お互いの連携が整えば双方にメリットがあると思われます。

問 国からは、どのような支援策がありますか。

答 農林水産省の事業で、障がい者を受け入れる際に必要とな

〔農福連携の今後は。〕

答

相談があれば関係課と相談し推進したい。

相談し推進したい。



農福連携の拡大を

る施設の整備にかかわる費用の一部を助成する制度等があります。また、厚生労働省の事業で、障がい者就労施設への農業に関する専門家の派遣や農福連携マールシエ開催等の支援があります。

問 農福連携の今後について、どのような意向をお持ちですか。

答 農福連携の取り組みを行いたい農業者、福祉事業所が相談にあれば、関係課と連携して推進を図ればと考えています。

問

LINEを活用した
通報システムは。

答

開かれた町政に
必要な方法で実施を研究。

問 道路や公園の不具合の情報

をLINEを活用し通報すると位置や故障の状況が即座にわかり、時間や手間の短縮にもなる通報システムの活用は。

答 町は、災害時の迅速かつ正確な情報を伝える為、ホーム

ページ、ツイッター、かわべえメールなどで情報提供しています。LINEも運用し始めました。若者層の利用が多いのが特徴で受けて側の発信ができるメリットがあり、広聴機能の活用を加味します。開かれた町政を進める為にも多くの意見がいただける方法として、実施を踏まえ早急に研究します。

問 県内公立中学・高校で女子

生徒の制服にスカートの他に、スラックスも導入する学校が広まっています。性的少数者への配慮の他、活動や寒さ対策になります。町での制服についての考えは。

答 近隣市町で導入するところ

がありますが、生徒や保護者等から制服の選択制の要望はあり



新井悦子
あら い えつ こ

ません。今後、生徒や保護者、地域のニーズを把握して研究してまいります。

問 困窮する方への食品を提供するフードバンクの窓口設置をする考えは。

答 県内2か所のNPO団体が活動しています。町でも必要に応じアスポート相談支援センター埼玉西部を経由し、支援を受けています。

食品の種類を多種多様に集めるためには、町でなく広域の方が有利だと考えます。

LINE@

LINEを活用した通報システムの活用を

比企広域市町村圏組合議会

森田 敏男
道祖土 証

平成31年第1回比企広域市町村圏組合議会定例会が、2月5日の午前10時より東松山市議会議場において開会しました。

今回提案された議案は、議案第1号から議案第14号までの14議案です。

議案第1号及び第2号は、公平委員会委員にときがわ町の馬場勝彦氏と川島町の小島和江氏の両氏を選任。（全員賛成同意）

議案第3号平成30年度一般会計補正予算（第1号）は、人事異動などによる歳出減額分35万1千円を予備費に充当。

議案第8号平成30年度斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計補正予算（第1号）は、1億165万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億6162万5千円に。

議案第9号平成30年度介護認

定及び障害支援区分審査会特別会計補正予算（第2号）は、職員給与213万9千円減額分を予備費に充当。

議案第10号平成31年度一般会計予算については、歳入歳出それぞれ7千500万円にする。

議案第12号平成31年度斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計予算については、歳入歳出それぞれ8億4千400万円にする。

議案第13号平成31年度介護認定及び障害支援区分審査会特別会計予算について、歳入歳出それぞれ6千400万円にする。

議案第14号平成31年度公平委員会特別会計予算について、歳入歳出それぞれ60万円にする。全議案とも採決の結果、全員賛成をもって原案可決されました。

（道祖土）

埼玉中部資源循環組合議会

小高 春雄
山田 敏夫

平成31年第1回埼玉中部資源

循環組合議会が2月4日開催されました。管理者の行政報告では都市計画決定や環境影響評価に関する事業を進めているとの報告がありました。1月21日の正副管理者会議において、事業スケジュールの見直しが行われて、平成35年度中の竣工を目指すことが決定したとの報告もありました。管理者からの提出議案は5件であります。

議案第1号の「(仮称)埼玉中部資源循環センター整備・運営事業者選定委員会条例制定について」は、同センター整備、運営事業の設計、建設及び運営を行う事業者の選定を公正かつ適正に実施するため、条例を制定するものです。

議案第2号は「埼玉中部資源循環組合一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

制定について」です。

議案第3号の「平成30年度一般会計補正予算(第2号)」は、事業の進捗に伴い、3億2721万8千円を減額し、予算の総額を5億4180万7千円とするものです。

議案第4号の「平成31年度一般会計予算」は、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ7億7100万円とするものです。

議案第5号の「埼玉中部資源循環組合監査委員の選任について」は、監査委員 加藤正雄氏の任期が平成31年3月31日で満了となるため、再任するものです。

全ての議案が原案通り可決されました。

(山田)

「田園集落まちづくり」に係る研究会 現地視察

2月7日に議会議員とまち整備課職員で34条11号の指定に係る先進事例を視察しました。

34条11号は市街化調整区域内で区域を定め、一定の建築物の立地を許可する制度であります。

そのため、11号に指定された区域においては、住宅などの開発が進むことにより、新住民の定住及び転出の防止による人口減少対策や優良な農地の保護が期待されております。

町では、市街化調整区域の集落における人口の維持を、11号制度運用の目的としており、特に集落の中心核的存在である、小学校及び公民館周辺を重要箇所として捉えているとのことでした。

将来的な人口密度及び地域コミュニティの維持に繋がるよう議会としても力を入れていきたい。



加須市内での視察風景

議会を傍聴しませんか？



誰でも議会を傍聴することができます。

・議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

(※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。)

議会日誌

2月

- 14日 比企郡町村議会議員研修会
- 22日 議会運営委員会
議会全員協議会

3月

- 1日～14日 3月定例会
- 13日 議会報編集委員会
- 14日 議会全員協議会
- 15日 中学校卒業式
- 22日 小学校卒業式
- 29日 議会報編集委員会

4月

- 8日 小学校・中学校入学式
議会報編集委員会



平成30年度比企郡町村議会議長会主催による議員研修会が2月14日にフレサよしみにて行われました。

講師の吉田稔氏は、1971年に西宮市に入庁され、1995年の阪神・淡路大震災の時に情報システム課長補佐として被災者支援を中核とする震災業務支援システムを開発されました。

当日は、実践的な危機管理対応や危機管理下における情報システムの重要性についてご講演をいただきました。

研修日 2月14日 午後2時
場所 フレサよしみ (吉見町民会館)
演題 地域防災力を高めるために必要なこと ～命を守るシステムとは何か～
講師 被災者支援システム全国サポートセンター長 吉田 稔氏

比企郡町村議会議員研修会

表紙解説

過日、とねがわ幼稚園で入園式が行われ、たくさんのお園児が元気な姿を見せてくれました。

中には、お母さんのそばから離れない子もいました。

ご両親にとっては、お子さまの初めての集団生活に不安を抱いているかと思いますが、幼稚園での生活は家庭ではできないことを経験できる場でもあり、人としての根幹を育む重要な時期であります。

入園された園児のみなさんには、幼稚園でお友達とたくさん遊び、人と関わる力や好奇心、探究心を養っていただきたいと思います。

(写真・文章／小峯)

次回6月の定例会

6月7日(金)

開会予定です。

編集後記

平成最後、今年の熊谷地域の桜開花日は、3月25日で、その後、花冷えもあり満開は4月6日頃です。毎年、桜前線の報道は寒い冬のからの実質的な春の到来を感じる待ち遠しい明るい話題です。ちなみに、桜前線算出の一つの方法として「600度法則」その年の基準地毎の2月1日以降の最高気温を加算し、累積温度600度を超える日を開花予想日とするのが話題になりました。

さて、先般開催された3月議会は町民の皆さま方の生活・活動に直結する、平成31年度川島町予算が充分な審議を経て可決されました。「町全体が安全で安心して暮らしやすい町づくり」のため適正かつ着実な予算執行を望むものです。

(遠山)

議会報編集委員会

委員長 爲水順二
副委員長 栗山輝治
委員 遠山尚治
委員 小峰松治
委員 稲村美代子
相談役 森田敏男